

- : 42-54, (2002.06)
- 150,増山英子(富山県立中央病院), 本郷江里子, 福森尋子, 奈田誠子, 伍島千代子, 麻生光男
: 精神科におけるクリニカルパス導入の試み インフォームドコンセントを重視して
(原著論文). 日本精神科看護学会誌 45 巻 1 号 : 12-15, (2002.06)
- 151,植田忍(聖マリアンナ医科大学 神経精神科), 新妻加奈子, 森嶋友紀子, 伊藤幸恵, 松尾
素子, 田所正典, 塚原さち子, 渡部廣行, 山口登, 青葉安里, 他 : 痴呆の病名告知に関する
研究 病名告知に対する軽度痴呆患者の意向とスタッフの対応(会議録). 老年精神医学
雑誌 13 巻 6 号 : 737-738, (2002.06)
- 152,保坂隆(東海大学 医学部 精神科) : 【これだけは知っておきたい 精神療法とカウ
ンセリングの基本】 状態像別・問題別にみた精神療法 コンサルテーション・リエゾン
(解説/症例報告/特集). 精神科臨床サービス 2 巻 3 号 : 338-341, (2002.06)
- 153,山崎晃資(東海大学 医学部 精神科学部門) : 児童青年精神医学の課題と展望(解説)精
神神経学雑誌 104 巻 6 付録 : 23-24, (2002.06)
- 154,保坂隆(東海大学 医学部 精神科) : リエゾン精神医学とサイコオンコロジー(解説).
高崎医学 52 巻 : 27-29, (2002.07)
- 155,角南讓(八雲病院) : 【21 世紀の精神科医療】 苛政は虎より猛なり(解説/特集). 日本
精神科病院協会雑誌 21 巻 7 号 : 29-31, (2002.07)
- 156,道又利(岩手医科大学 医学部 神経精神科学講座), 酒井明夫 : 【精神科薬物療法】
処方という行為の意味(解説/特集). 精神科 1 巻 1 号 : 3-7, (2002.07)
- 157,松浪克文(虎の門病院(共済) 精神科), 上瀬大樹 : 【精神科主治医の心得 初診・入院
時編】 初診・新入院の患者・家族に伝えておくべきこと(解説/特集). 精神科 1 巻 1 号
: 34-39, (2002.07)
- 158,岩館敏晴(国見台病院) : 精神分裂病から統合失調症へ ノーマライゼーションの拡大
を期待して(解説). 精神科看護 120 号 : 49-54, (2002.08)
- 159,山岡信明(国立療養所賀茂病院 精神科) : 情報開示のあり方 精神科診療の立場から
(会議録). 医療 56 巻増刊プログラム : 105, (2002.09)
- 160,佐々木青磁(医療情報小委員会) : 電気けいれん療法の実態について 全国自治体病
院協議会アンケート調査から(原著論文). 全国自治体病院協議会雑誌 411 号 :
1236-1239, (2002.09)
- 161,辻富基美(和歌山県立医科大学 神経精神医学 教室), 北端裕司, 郭哲次, 志波充, 吉益
文夫 : 妊娠期における精神科薬物療法の経験について(原著論文/症例報告). 和歌山医
学 53 巻 3 号 : 223-228, (2002.09)
- 162,石野徳子(昭和大学医学部附属烏山病院), 長谷川千種, 村山祐子, 安仙嬉, 富樫康之, 井
口喬 : アルコール依存症の患者用パス 解決志向型アプローチの導入(会議録). 日本
精神科病院協会雑誌 21 巻別冊 : 153, (2002.09)
- 163,青木省三(川崎医科大学 精神科学教室) : 【病名と告知を考える】 病名とインフ
ォームド・コンセント(解説/特集). こころの科学 105 号 : 8-12, (2002.09)
- 164,森山成彬(八幡厚生病院) : 【これだけは知っておきたい 精神科薬物療法の上手な使
い方】 薬物療法が困難な患者への対応 抗精神病薬と抗酒薬の無告知投薬(解説/症例
報告/特集). 精神科臨床サービス 2 巻 4 号 : 479-481, (2002.10)

- 165,本橋伸高(国立精神・神経センター武蔵病院)：【気分障害の治療ガイドライン】 治療法の解説 電気けいれん療法(解説/特集)．精神科治療学 17 巻増刊：191-196,(2002.10)
- 166,丹羽薫(こらーる・たいとう)：【これだけは知っておきたい 精神科薬物療法の上手な使い方】 当事者・家族の声 不肖私,かれこれ 20 年飲んでます(一般/特集)．精神科臨床サービス 2 巻 4 号：531-532,(2002.10)
- 167,田村文栄(地域生活支援センタースペースピア)：【これだけは知っておきたい 精神科薬物療法の上手な使い方】 福祉の立場からみた患者の服薬に関する諸問題 安心して豊かな生活を営むために 地域生活支援センターからの考察(解説/特集)．精神科臨床サービス 2 巻 4 号：505-507,(2002.10)
- 168,高橋英彦(静和会浅井病院), 秀野武彦, 上條吉人：【救急患者への対応 精神科病院の場合】 身体疾患を合併した患者を精神科病院へ入院依頼された場合(解説/特集)．精神科 1 巻 5 号：406-411,(2002.11)
- 169,山崎恵司(大阪府保健医療財団新千里病院 外科), 高塚雄一：消化器癌患者の希望に沿うがん告知(原著論文)．日本臨床外科学会雑誌 63 巻 11 号：2617-2620,(2002.11)
- 170,平島奈津子(昭和大学 医学部 精神医学 教室)：精神療法におけるインフォームド・コンセント(解説)．精神科 1 巻 5 号：418-420,(2002.11)
- 171,五十嵐禎人(東京都医学研究機構東京都精神医学総合研究所)：非強制入院のための判断能力 イギリス Bournemouth 事件よりの示唆(会議録)．法と精神科臨床 5 巻：103-104,(2002.12)
- 172,藤野邦夫(新潟大学 医学部 保健学科看護学 専攻), 藤野ヤヨイ：精神科薬物療法における副作用情報の説明責任と看護師の立場(総説)．新潟大学医学部保健学科紀要 7 巻 4 号：437-449,(2002.12)
- 173,重村淳(防衛医科大学校 精神科学 講座), 野村総一郎, 上村秀樹, 桑原達郎：【リエゾン精神医学の直面している問題と新しい動き】 日本における medical psychiatry の現状と課題(解説/特集)．精神科治療学 17 巻 12 号：1493-1498,(2002.12)
- 174,吉尾隆(桜ヶ丘記念病院 薬剤部)：病院薬剤師の仕事 精神科領域の服薬指導 精神科医療の中の薬剤師(解説)．調剤と情報 8 巻 13 号：1919-1922,(2002.12)
- 175,渡辺憲(明和会医療福祉センター渡辺病院), 英裕人, 土居聡子, 岸田英夫：【任意入院】 痴呆性疾患における任意入院(解説/特集)．臨床精神医学 31 巻 12 号：1489-1494,(2002.12)
- 176,太田博昭(フランス)：【世界の精神科医療の動向と日本の現状】 精神科医療の日仏比較考(解説/特集)．日本精神科病院協会雑誌 21 巻 12 号：49-52,(2002.12)
- 177,藤野ヤヨイ(新潟青陵大学), 藤野邦夫：裁判事例から学ぶ精神科看護の技術・倫理・専門性 精神科治療における説明責任 札幌ロボトミー訴訟(一般)．精神科看護 124 号：58-61,(2002.12)

V 2003年

- 178,高橋清久(国立精神・神経センター)：【診療録開示と精神科】 診療録開示の流れ(解説/特集)．臨床精神医学 32 巻 1 号：5-10,(2003.01)
- 179,江崎幸生(名古屋大学 医学部 精神科), 下村昇, 市田勝：境界例におけるインフォー

- ムドコンセントと入院治療 精神科医,臨床心理士へのアンケート(会議録). 精神神経学雑誌 105 巻 1 号 : 138, (2003.01)
- 180,杉本健郎(関西医科大学附属男山病院 小児科) : 【精神科におけるてんかんの診方】 てんかん診療で小児科医が精神科医に期待すること(解説/特集). 精神科治療学 18 巻 1 号 : 29-34, (2003.01)
- 181,都築一夫(中京病院(社保) 小児科) : 【透析療法を受けている児のトータルケア】 関連論稿 透析療法を受けている児の腎移植までの諸問題(解説/特集).. 小児看護 26 巻 1 号 : 81-85, (2003.01)
- 182,佐藤忠彦(桜ヶ丘記念病院) : 【診療録開示と精神科】 精神科カルテ開示の新たな段階(解説/特集). 臨床精神医学 32 巻 1 号 : 37-48, (2003.01)
- 183,中江孝行(敬愛会玉里病院) : 【診療録開示と精神科】 精神科医の立場からみた診療録開示(解説/特集). 臨床精神医学 32 巻 1 号 : 25-35, (2003.01)
- 184,松岡浩(赤木松岡梶谷法律事務所) : 【診療録開示と精神科】 「診療記録の開示」論・管見(解説/特集). 臨床精神医学 32 巻 1 号 : 11-19, (2003.01)
- 185,西村徹(東京都立松沢病院 精神科) : 【これだけは知っておきたい 心理社会的介入の導入と実際】 心理社会的介入の困難ケースへの対応 治療動機の乏しいケース(解説/症例報告/特集). 精神科臨床サービス 3 巻 1 号 : 95-97, (2003.01)
- 186,藤野邦夫(新潟大学 医学部 保健学科 看護学 専攻), 藤野ヤヨイ : 裁判事例から学ぶ精神科看護の技術・倫理・専門性 最高裁判決から見た病院の過失責任 無断離院中の事故と看護師の専門性(一般). 精神科看護 126 号 : 58-63, (2003.02)
- 187,藤野ヤヨイ(新潟青陵大学), 藤野邦夫 : 裁判事例から学ぶ精神科看護の技術・倫理・専門性 抗精神病薬の副作用と看護責任 都立墨東病院事件(一般). 精神科看護 127 号 : 68-72, (2003.03)
- 188,金子美也子(成増厚生病院) : 【これだけは知っておきたい 様々な場面での集団の生かし方】 臨床の場で起こる様々な問題を集団の中でどう対応するか 治療者が振り回される家族(解説/特集). 精神科臨床サービス 3 巻 2 号 : 225-227, (2003.04)
- 189,橋本光子(東京女子医科大学附属病院) : 精神科医療のインフォームド・コンセントにおける看護者の役割 うつ病患者に対して入院から退院までに実施した看護実践の分析から(原著論文). 日本精神保健看護学会誌 12 巻 1 号 : 94-104, (2003.05)
- 190, 小高文聰(東京慈恵会医科大学附属柏病院 精神神経科), 笠原洋勇 : 疫学研究等に関するガイドラインの成立について(解説). 精神科治療学 18 巻 5 号 : 619-622, (2003.05)
- 191,土井永史(東京都立荏原病院 精神科) : ECT のインフォームド・コンセント-境界領域からの考察(会議録). 総合病院精神医学 15 巻 1 号 : 93, (2003.05)
- 192,藤井康男(山梨県立北病院) : 【「新薬」 求められる看護の力】 新しい抗精神病薬への切り替え フォーラムの講演から(解説/特集). 精神科看護 129 号 : 19-31, (2003.05)
- 193,深谷翼(明治大学) : 【高齢者の精神医療と事故】 高齢者精神科医療の事故と法的諸問題 医療訴訟 最近の動向 とくに医療事故(医療過誤),因果関係と期待権について(解説/特集). 老年精神医学雑誌 14 巻 6 号 : 748-753, (2003.06)
- 194,松岡浩(赤木松岡法律事務所) : 【高齢者の精神医療と事故】 高齢者の精神科病院・施設における医療・介護事故について(解説/特集). 老年精神医学雑誌 14 巻 6 号 :

- 754-762, (2003.06)
- 195, 吉本博昭(富山市立富山市民病院 精神科) : 【一般医のための精神症状とその対応】
アルコール関連障害 (Alcohol-related disabilities) (解説/特集). 診断と治療 91 巻 8 号 :
1352-1356, (2003.08)
- 196, 中谷真樹(桜ヶ丘記念病院) : 【これだけは知っておきたい エンパワメント 当事者
が力を発揮するのをどう援助するか】 援助理念 精神科領域でのインフォームド・コ
ンセント説明による同意をこえて(解説). 精神科臨床サービス 3 巻 4 号 : 406-412
, (2003.10)
- 197, 夏山綾美(高砂市民病院 神経科), 三宅一之, 荒木祥子 : 総合病院無床精神科にて精神
科単科病院への転院が必要と判断した症例の転帰について(会議録). 総合病院精神医学
15 巻 Suppl. : 146, (2003.11)
- 198, 白石弘巳(東京都医学研究機構東京都精神医学総合研究所) : 【精神科救急ガイドライ
ン】精神科救急に必要な法的或いは実務上の知識 患者・家族に説明すべきこと 精神
科救急とインフォームド・コンセント(解説/特集). 精神科治療学 18 巻増刊 : 193-197
, (2003.11)
- 199, 中村満(東京都立豊島病院 神経科), 一瀬邦弘, 益富一郎, 島陽一, 奥村正紀, 関口佳穂
子, 道行隆, 今村達弥, 清水研, 山田健志, 竹林宏, 清水恵子, 土井永史 : 【電気けいれん
療法の新展開 その可能性と限界】 電気けいれん療法におけるインフォームド・コン
セントどのように説明し, 同意を得るか(解説). 精神科治療学 18 巻 11 号 : 1257-1265
, (2003.11)
- 200, 井口喬(昭和大学医学部附属烏山病院) : 【精神科クリニカルパス】 精神科病院にお
けるクリニカルパス 精神科領域におけるパス導入と治療の標準化の試み(解説/特集).
日本精神科病院協会雑誌 22 巻 12 号 : 27-31, (2003.12)
- * 小澤昭彦(障害者職業総合センター) : 精神障害者の雇用支援における個人情報伝達.
職業リハビリテーション 14 巻 9-16, (2001.3) (註: 本文献は医学中央雑誌に掲載され
てはいないが, 本分担研究に関連が深いのでとくに掲載した)

以上

「精神病院・社会復帰施設等の実態把握及び情報提供に関する研究」

研究班名簿

主任研究者 竹島 正 国立精神・神経センター精神保健研究所

分担研究者 伊藤 弘人 国立保健医療科学院

佐藤 忠彦 桜ヶ丘記念病院

研究協力者 立森 久照 国立精神・神経センター精神保健研究所

羽藤 邦利 代々木の森診療所

(50音順)

平成 15 年度厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）

「精神病院・社会復帰施設等の実態把握及び
情報提供に関する研究」研究報告書

発行日 平成 16 年 4 月
発行者 「精神病院・社会復帰施設等の実態把握及び
情報提供に関する研究」主任研究者 竹島 正
発行所 国立精神・神経センター精神保健研究所
〒272-0827 千葉県市川市国府台 1-7-3
TEL：047-372-0141 FAX：047-371-2900
